

平成21年産の農作物の生育状況について(地方農政局、道庁等からの聞き取り情報)

平成21年9月30日現在

品目	全国の生育状況 生育ステージ	
コメ	乳熟期～収穫期 (収穫済み面積:約2割)	8月以降天候が回復したことから、全国的に生育は回復傾向。 登熟が例年よりも遅れ、ほ場によって登熟の進度もバラつくことが予想されるため、籾の黄化や葉色状態等を踏まえて収穫適期を判断するなどの技術指導を推進中。
麦	北海道:収穫済み 都府県:収穫済み	北海道においても8月中旬に収穫が完了。収穫前の長雨や倒伏の影響により、単収・品質が低下。
大豆	北海道:成熟期 都府県:着莢期～ 粒肥大期	生育の遅れや作柄の低下が懸念されていた北海道においては、8月以降天候が回復し、生育の遅れも2日程度まで回復。着莢数は、平年並みを確保している状況。 都府県においても、8月以降天候が回復したため、長雨によって播種作業が遅れた九州北部地方や東海地方等においても順調に生育中。
小豆・菜豆	成熟期～収穫期	菜豆は、収穫が開始されているが、長雨・日照不足の影響を大きく受け、減収は必至。 小豆は、成熟期にあり、天候の回復により、生育の遅れも徐々に持ち直しつつあるが、平年に比べて着莢数がやや少なく、減収が懸念される状況。
てん菜 (北海道)	登熟期	長雨による湿害により地域やほ場によって、根部の肥大状況にバラツキがみられ、単収は1割程度低下する可能性あり。ただし、糖度については、8月以降天候が回復したことから、平年並みもしくは平年をやや上回るとの見通し。
ばれいしょ	北海道:収穫期 都府県:収穫済み	北海道以外の産地では、収穫済み。 北海道(生食用で約5割)では、生食用ばれいしょの収穫・出荷は概ね終了。また、加工用・でん粉用ばれいしょの収穫・出荷は7割程度終了。全道的に、いもの数は多いが、小粒傾向にある。東京都中央卸売市場の価格は平年比1.1～1.2倍。
野菜		
根菜類(だいこん、にんじん)	は種、生育期、収穫期	主産地である北海道、東北で天候の回復により生育は順調。 東京都中央卸売市場の価格は平年比0.7～1.0倍。
たまねぎ	北海道:収穫期 都府県:収穫終了	北海道以外の産地では、収穫終了。 主産地の北海道で、夏場の天候不順の影響から不作傾向。小玉傾向で出荷量は少ない見込み。 東京都中央卸売市場の価格は平年比1.2～1.4倍。
果菜類(なす、トマト、ピーマン)	周年生産	主産地の関東で天候の回復により生育は順調。 東京都中央卸売市場の価格は平年比0.6～1.0倍。
葉菜類 (はくさい、キャベツ、レタス)	周年生産	主産地である長野、群馬等の高冷地で天候の回復により生育は順調。 東京都中央卸売市場の価格は平年比0.4～1.2倍。
果樹		
うんしゅうみかん	果実肥大期～収穫期	生育は、平年並み～やや早い。8月中旬以降産地が干ばつ傾向であったため、小玉傾向。 現在、九州を中心とした極早生みかんの出荷時期であるが、価格は平年比9割程度。
りんご	果実肥大期～収穫期	生育は、平年並み～やや早い。早生種(つがる等)は出荷後期。品質は良好。着色も良い。 価格は、主力産地(青森)の出荷量が多いこともあり、平年比8割程度。
かき	果実肥大期～収穫期	生育は、平年並み～やや早い。早生種(刀根早生等)の出荷盛期。価格は平年並。
飼料作物		
牧草	北海道:2番草収穫期 都府県:2～3番草収穫期	北海道では7月の天候不順により1番草の収穫が遅れたことから、2番草収穫作業も遅れている状況。 都府県では各地域の気象条件によって生育が良好な地域から不良な地域まで差がある状況。
青刈とうもろこし	北海道:生育期～収穫期 都府県:生育期～収穫期	北海道では地域によって生育に差がみられ、気象条件が厳しい地域では生育が遅れ減収のおそれ。 都府県では各地域の気象条件によって生育が良好な地域からやや不良な地域まで差がある状況。